

# 第 7 回 通 常 総 会

1 9 9 2 年 6 月 2 5 日 ( 木 )

社団法人 人工知能学会

JAPANESE SOCIETY FOR ARTIFICIAL INTELLIGENCE

---



〒162 東京都新宿区津久戸町4-7

OSビル402号室

TEL. 03-5261-3401 FAX. 03-5261-3402

# 第7回通常総会次第

日 時 1992年6月25日(木) 12時40分～13時10分

場 所 学習院大学・記念会館大ホール(東京・目白)  
東京都豊島区目白1-5-1 TEL. 03-3988-9805

- 総会次第
1. 開 会
  2. 会長挨拶
  3. 議長選出
  4. 1991年度事業報告
  5. 1991年度決算報告、監査報告
  6. 1992年度事業計画
  7. 1992年度予算
  8. 会費の改訂とそれに伴う規程の改正
  9. 名誉会員の推薦
  10. 1992年度役員構成
  11. 1992年度評議員構成
  12. 個人会員の除名処分
  13. 1991年度論文賞表彰
  14. 1992年度全国大会(第6回)優秀論文の表彰
  15. 新会長の挨拶
  16. 閉 会

以 上

# 1991年度事業報告(案)

## 1. 概 要

学会創立5年目を迎え、引き続き理事会および各委員会を中心に学会の基盤強化を進めるとともに、第5回全国大会の開催、会誌の隔月発行、研究会活動に重点を置き、学会活動の活発化、会員サービスの充実をはかった。

学会創立5周年記念事業として、記念論文の公募、表彰を行うとともに、会誌く創立5周年記念特集号(第6巻第4号)を企画、発行した。

6月25日から4日間にわたり学習院大学で開催した第5回全国大会は、論文発表179件、ミツキー博士(チューリングインスティテュート)の招待講演などで、盛会裡に終わった。

会誌発行は隔月刊も軌道にのり、編集委員会の長期的な企画と周到な準備のもとに、各号技術特集、座談会、パネル討論、チュートリアル連載などを組むほか、引続き好調な投稿論文の掲載で会誌の充実をはかった。

研究会活動は、他学会研究会との共催を含め3研究会で計10回の研究会を開催、研究発表計83件、講演3件、パネル討論1回が行われた。

セミナーは東京、名古屋で計3回開催、学生のための人工知能講演会は、徳島大学、信州大学で開催、いずれも好評であった。

なお、IJCAI'97の日本誘致が確定したので、1997年の開催へ向けて準備を開始した。

## 2. 会員現況(1992年3月31日現在)

正会員	3,873名
学生会員	353名
賛助会員	155社
特殊購読会員	86団体

## 3. 会誌の発行

### ◇第6巻第3号(通巻27号)

・巻頭言、特集[高度情報化通信と人工知能-A TRにおける人工知能の研究]解説6編、パネル討論[大規模知識ベースの構築と利用]、一般解説1編、論文5編、ショートノート1編、その他で構成

### ◇第6巻第4号(通巻28号)〈創立5周年記念特集号〉

・会長挨拶、随想8編、座談会[AI・ニューロ・ファジィ]、創立5周年記念優秀論文1編、一般解説1編、論文7編、その他で構成

### ◇第6巻第5号(通巻29号)

・巻頭言、一般解説3編、論文8編、ショートノート1編、その他で構成

### ◇第6巻第6号(通巻30号)

・巻頭言、特集[人工知能の理論と実際]解説7編、一般解説2編、論文8編、その他で構成

### ◇第7巻第1号(通巻31号)

・巻頭言、パネル討論[機械学習の理論と実際]解説4編、一般解説5編、論文8編、その他で構成

### ◇第7巻第2号(通巻32号)

・巻頭言、特集[設計とAI]解説7編、一般解説1編、論文9編、その他で構成

#### 4. 1991年度全国大会(第5回)の開催

チュートリアルを3トラック構成で第1日に集中し、期間4日間として第5回全国大会を開催した。

◇日時 1991年6月25日(火)～6月28日(金)

◇場所 学習院大学・記念会館

◇プログラム構成

- ・特別講演 [ヒトゲノム解析計画と人工知能]  
金久 實(京大)
  - ・招待講演 [EXPERIMENTS IN RULE-BASED CONTROL :  
Beyond the Neural Paradigm for Machine Learning ]  
Dr. Donald Michie ( The Turing Institute )
  - ・パネルディスカッション [機械学習の理論と実際]  
司 会 有川 節夫(九大)  
パネリスト 沼尾 正行(東工大)  
石坂 裕毅(ICOT)  
西尾章治郎(阪大)  
山口 高平(静岡大)
  - ・一般講演 発表論文179編
  - ・参加者 936名(内非会員121名、学生83名/論文集購入を含む)
  - ・優秀論文表彰 優秀論文 6編
  - ・チュートリアル講演
    - <Track A: 知識システムの構築手法とその新技術>  
寺野隆雄(筑波大) [知識システム開発支援ツール・開発手法の動向と新技術]  
古関義幸(NEC) [診断型知識システムとその新技術]  
丸山文宏(富士通研) [設計型知識システムとその新技術]
    - <Track B: 問題解決における制約知識の利用>  
西原清一(筑波大) [制約充足問題(CSP)の基礎と動向]  
奥乃 博(NTT) [仮定に基づいた真偽値管理システムATMS入門]  
相場 亮(ICOT) [制約論理プログラミング入門]
    - <Track C: 知識の学習とその新潮流>  
國藤 進(富士通研) [学習研究の基礎と新潮流]  
山田誠二(阪大) [説明に基づく学習(EBL)入門]  
小林重信(東工大) [事例ベース推論の動向]
- 参加者 287名(非会員30名、学生17名、テキスト7名)

#### 5. シンポジウム/ワークショップの開催

◇計算論的学習理論ワークショップALT'91

期 日 1991年10月23日(水)～25日(金)

場 所 (株)CSK情報教育センター(東京・多摩)

構 成 招待講演3件、一般講演25件

参加者 130名(大学関係37、公的機関13、企業58、学生・他22)

◇第9回設計シンポジウム

期 日 1991年7月16日(火)・17日(水)

場 所 ムトーホール(東京・世田谷)

構 成 一般講演17件

参加者 60名

共 催 (社)精密工学会、(社)日本機械学会、日本設計工学会

## 6. 研究会の開催

人工知能基礎論、ヒューマンインタフェースと認知モデル、知識ベースシステムの3研究会が他学会との共催を含めて計9回の研究会を開催（人工知能基礎論研究会の10月度研究会は国際ワークショップALIT'91開催のため休会）、そのほか12月に3研究会合同で、講演、パネル討論、研究発表のプログラムによる“AIシンポジウム'91（第2回）”を2日間開催した。

### ◇人工知能基礎論研究会

#### ・第12回

日 時 1991年5月13日（金）13時～15時50分  
場 所 東京大学生産技術研究所第1会議室（東京・六本木）  
内 容 研究発表4件／参加者12名

#### ・第13回

日 時 1992年3月3日（火）13時～16時30分  
場 所 京都大学工学部情報工学教室（京都・吉田）  
内 容 研究発表5件／参加者26名

### ◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会

#### ・第13回

日 時 1991年5月17日（金）10時～16時30分  
場 所 大阪大学産業科学研究所（大阪・千里）  
テ ー マ “ハイパーメディア、ハイパーテキスト” および一般演題  
内 容 研究発表4件／参加者23名

#### ・第14回《計測自動制御学会ヒューマンインタフェース研究部会と共催》

日 時 1991年10月9日（水）13時～17時30分  
場 所 機械振興会館65号室（東京・芝公園）  
テ ー マ “VR(virtual reality)” および一般演題  
内 容 研究発表4件／参加者32名

#### ・第15回《電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーション研究会、日本認知学会と共催》

日 時 1992年1月24日（金）9時40分～16時50分  
場 所 機械振興会館66号室（東京・芝公園）  
テ ー マ “認知とヒューマンインタフェース” および一般演題  
内 容 研究発表12件／参加者60名

### ◇知識ベースシステム研究会

#### ・第16回

日 時 1991年4月27日（土）13時～16時30分  
場 所 機械振興会館65号室（東京・芝公園）  
テ ー マ 知的CAIおよび一般演題  
内 容 研究発表5件／参加者39名

#### ・第17回

日 時 1991年9月11日（水）10時30分～16時50分  
場 所 機械振興会館67号室（東京・芝公園）  
テ ー マ 事例ベース推論と類推および一般演題  
内 容 研究発表7件／参加者53名

#### ・第18回《土木学会関西支部ヒューマンインタフェース部会と共催》

日 時 1991年10月18日（金）9時～18時

場 所 関西大学百年記念会館（大阪・吹田）  
テ ー マ 土木技術分野における知識ベースシステム  
内 容 研究発表14件／参加者103名

・第19回《電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会と共催》

日 時 1992年1月17日（金）9時～18時／18日（土）9時～16時45分  
場 所 京大会館／芝蘭会館（京都・吉田）  
内 容 研究発表21件／参加者延べ64名

◇第3回合同研究会“AIシンポジウム'91（第2回）”

日 時 1991年12月5日（水）・6日（金）9時30分～16時30分  
場 所 サンシャイン集会室4号室／5号室（東京・池袋）  
内 容 講演3件、パネル討論“情報の意味と理解—言語・音声・対話—”4名、  
研究発表14件／参加者名延べ149名

7. セミナーなどの開催

◇第14回人工知能セミナー

- ・テ ー マ：エキスパートシステム実用化の課題と対策
- ・期 日：1991年7月19日（金）10時～16時30分
- ・場 所：青山学院大学・総合研究所ビルディング12階大会議室（東京・青山）
- ・講 演／  
パネル討論：司 会 上野晴樹氏（東京電機大学）  
エキスパートシステムの現状と課題 宇佐見仁英氏（富士通）  
計画型ES構築のポイント 小島昌一氏（東芝）  
ES構築を成功させる方法 花岡かほる氏（日立）
- ・参 加 者：95名

◇第15回人工知能セミナー

- ・テ ー マ：人工知能の理論と実際
- ・期 日：1991年12月4日（水）10時～16時30分
- ・場 所：サンシャイン集会室4号室／5号室（東京・池袋）
- ・プログラム：司 会 富田重幸氏（東京工業大学）  
[人工知能の理論と実際]をめぐって 寺野隆雄氏（筑波大学）  
プラント分野における計画問題の理論と実際 関根史麿氏（花王）  
電力・ガス分野の診断型AIシステムの理論と実際 松本啓之介氏（三菱電機）  
金融分野におけるコンサルテーション問題の実際 広瀬 正氏（日立）  
鉄鋼分野における計画問題の理論と実際 大力 修氏（新日本製鐵）  
機械設備分野における診断問題の理論と限界 山口高平氏（静岡大学）
- ・参 加 者：41名

◇第16回人工知能セミナー《東海エーアイ研究会と共催》

- ・テ ー マ：エキスパート・ファジィ・ニューロの融合と実用化に向けて
- ・期 日：1992年1月21日（火）9時30分～16時30分
- ・場 所：愛知厚生年金会館会議室“百合”（名古屋・池下）
- ・講 演／  
パネル討論：司 会 上野晴樹氏（東京電機大学）

ファジィ知識情報処理システム 高木友博氏(国際ファジィ工学研究所)  
ニューラルネットワークシステムとそのファジィとの融合 木泰治氏(松下電器)  
エキスパートシステムとニューロの融合技術 宇佐見仁英氏(富士通)

・参加者: 54名

◇第3回人工知能フォーラム

・期 日: 1991年11月28日(木) 15時~19時  
・場 所: ワールドインポートマート・807室<国際会議場>(東京・池袋)  
・講 演: [しなやかなシステムズアプローチについて]  
榎木謙一氏(京都大学名誉教授)  
[社会をどう変えるか]  
唐木 一氏(東海大学教授)

・参加者: 31名

8. 学生のための人工知能講演会の開催

◇第13回

・日 時 1991年12月5日(木) 13時20分~16時50分  
・場 所 徳島大学工学部知能情報工学科C-20教室  
・講 演 記号による機械学習 山田誠二氏(大阪大学)  
計算機による日本語文の理解 平井 真氏(大阪大学)  
・参加者 98名

◇第14回

・日 時 1992年1月31日(金) 13時~16時10分  
・場 所 信州大学工学部103番教室  
・講 演 自然言語処理の諸断面 池田尚志氏(岐阜大学)  
画像処理エキスパートシステム 長谷川純一氏(中京大学)  
・参加者 約50名

9. 研究部会の活動

次年度からの2研究会の増設、事業の見直しに対応して、“知的ソフトウェア開発”、“知的データベース”、“知的コミュニケーションネットワーク”の3研究部会とも、当面活動を停止することとした。

10. ニュースレターの発行

ニュースレターの作成、発行はとりやめたが、学会活動の最新情報を会員に伝達するために、各種パンフレットを3回にわたり配布した。配布したパンフレットは次のとおり。

- ・1991年度全国大会(第5回)開催案内
- ・1992年度全国大会(第6回)論文募集案内
- ・1991年度研究会のお知らせ
- ・1992年度研究会のお知らせ
- ・4月度/6月度/10月度/2月度研究会開催案内
- ・12月度合同研究会“AIシンポジウム'91”開催案内
- ・第14回/第15回/第16回人工知能セミナー開催案内
- ・計算論的学習理論国際ワークショップAL'T'91論文募集/開催案内
- ・第9回設計シンポジウム開催案内

- ・人工知能ハンドブック購読のおすすめ
- ・学会誌などバックナンバー頒布について
- ・入会のお勧め<個人会員/賛助会員/特殊購読会員>

## 11. 表彰

### ◇創立5周年記念論文賞

創立5周年を記念して記念論文を公募、選定委員会の審査を経て、下記の論文1編の著者に記念論文賞を贈呈し、会誌第6巻4号<創立5周年記念特集号>掲載した。

- ・[推論パズネットワークによる高速仮説推論システム] 伊藤史郎、石塚 満

### ◇学会論文賞

論文賞規程、論文賞候補選定細則にもとづき、会誌第6巻1号～第6巻第6号掲載の論文、ショートノートおよび技術資料計編を対象に、会員による推薦および候補選定委員会の審査を経て、下記の論文1編の著者に論文賞を贈呈した。

- ・[MBT2: 実例に基づく翻訳における複数翻訳例の組合せ利用] (VOL. 6, NO. 6)

佐藤 理史

### ◇研究奨励賞

第2回目の表彰で、研究奨励賞規程、同細則にもとづき、今回は1990年度の研究発表を対象に、登録会員による推薦および候補選定委員会による審査を経て、下記の5件に研究奨励賞を贈呈した。

<ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会>

- ・[SIG-HICG-9001-2] [ハイパーアイデアデータモデルに関する一考察]

原 良憲、的場ひろし、笠原 裕

<知識ベースシステム研究会>

- ・(SIG-KBS-9003-6) [PLEXSYSを応用したCAE支援システム]

阪本弘志、小山一彦、兼本 茂、内藤憲夫

- ・(SIG-KBS-9004-1) [ATMSを用いた問題解決システムの構築技法-問題解決システムの枠組み-]

西岡真吾、溝口理一郎

<合同研究会>

- ・(SIG-F/H/K-9001-9) [コンピュータ利用・学習場面における他者の役割]

野島久雄

### ◇全国大会(第5回)優秀論文の表彰

発表論文179編を対象に、プログラム委員会査読委員の審査を経て、下記の論文7編の著者を表彰した。

- ・論文番号1-3 [述語サーカムスクリプションの有限近似とその上の計算システム]  
太田和彦、岩沼宏治(山梨大)
- ・論文番号2-3 [推論過程からの概念学習]  
吉田健一、元田 浩(日立)
- ・論文番号3-5 [類似性と投射性の関連性に関する論理的分析]  
池田 満、溝口理一郎(阪大)
- ・論文番号6-6 [共有可能性を指向したドメイン知識の組織化  
-知識コンパイラKCII-DST]  
平井賢二、野村康雄(関西大)、池田 満、溝口理一郎(阪大)
- ・論文番号9-2 [手続き型プログラミング言語によるプロダクションシステムの制御]  
石田 亨、佐々木裕、福原美三(NTT)
- ・論文番号11-3 [一般辞書から抽出した事例を用いた制約と選好]  
浦本直彦、長尾 確(日本IBM)

## 12. 共催、協賛、後援の催し物



次のとおり催し物の共催 6 件、協賛 5 9 件、後援 2 件により、他学協会と協調して学会活動の活発化、多様化を進めた。

#### 《共催》

- ◇ EUROPEAN-JAPANESE SEMINAR ON INFORMATION MODELLING AND KNOWLEDGE BASES / (May 28-30, 1991)
- ◇ 第 1 回ファジィシステムセミナー / 日本ファジィ学会主催 (1991/6/1)
- ◇ 第 9 回設計シンポジウム / (社) 日本設計工学会主催 (1991/7/16・17)
- ◇ 教育工学関連学協会連合第 3 回全国大会 / 教育工学関連学協会連合主催 (1991/12/2~4)
- ◇ 情報学シンポジウム / 日本学術会議情報学研究連絡委員会、他主催 (1992/1/8・9)
- ◇ 第 3 回計測連合シンポジウム 先端計測 '9 2 / 日本学術会議計測工学研究連絡委員会主催 (1992/3/16・17)

#### 《協賛》

- ◇ 第 1 7 回デザインエンジニアリングコンファレンス (DEC) [インテリジェント CAD] / (社) 日本設計工学会主催 (1991/4/10・11)
- ◇ 第 1 5 回 [産業用ロボット・フィルムフェスティバル] / (社) 日本産業用ロボット工業会主催 < 東京会場 > (1991/4/19) < 大阪会場 > (1991/4/19)
- ◇ 講習会第 4 回「ファジィ理論の基礎」 / 日本ファジィ学会主催 (1991/4/25・26)
- ◇ 講習会 [ファジィ制御の応用の実際] / 日本ファジィ学会主催 (1991/5/9・10)
- ◇ 第 1 回ロボットシンポジウム / (社) 日本ロボット学会主催 (1991/5/9~11)
- ◇ SYNAPSE '9 1 (Symposium on Neural-networks; Alliance and Perspective in SENri) / (財) 千里国際情報事業財団、日本経済新聞社主催 (1991/5/29~31)
- ◇ [第 1 2 回分散処理システム国際会議 (ICDCS-1 2)] / (The 12th IEEE International Conference on Distributed Computing System) / (社) 情報処理協会、IEEE Computer Society 主催 (1992/6/6~12)
- ◇ 第 7 回ファジィシステムシンポジウム / 日本ファジィ学会主催 (1991/6/12~14)
- ◇ Computer Graphics Osaka '91 / 日本能率協会主催 (1991/6/12~15)
- ◇ 講習会 [画像の処理・理解と応用システム] / (社) 計測自動制御学会関西支部主催 (1991/6/25)
- ◇ 日本機械学会関西支部第 1 8 2 回講習会 / (社) 日本機械学会関西支部主催 : (1991/6/27・28)
- ◇ システム制御情報チュートリアル講座イーブニングスクール (I) [デジタル制御理論入門] / システム制御情報学会主催 (1991/7/1・3・8・10・12)
- ◇ SICE 夏期セミナー '9 1 / (社) 計測自動制御学会主催 (1991/7/7~12)
- ◇ The Logic Programming Conference '9 1 / (財) 新世代コンピュータ技術開発機構主催 (1991/7/8)
- ◇ [人工現実感とレイグジスタンス] 国際会議・シンポジウム / (社) 日本工業技術振興協会、日本経済新聞社主催 (1991/7/9・10)
- ◇ AI '9 1 / 日本経済新聞社主催 (1991/7/9~11)
- ◇ 第 3 回インテリジェント FA シンポジウム / システム制御情報学会主催 (1991/7/10~12)
- ◇ シンポジウム [農業機械の知能化をめざして、その 2] / 農業機械学会主催 (1991/7/16)
- ◇ 第 1 2 回バイオメカニズム・シンポジウム / バイオメカニズム学会主催 (1991/7/18~20)
- ◇ 第 9 回日本ロボット学会学術講演会 / (社) 日本ロボット学会主催 (1991/7/27~29)
- ◇ 第 3 回経済経営と情報技術に関する国際会議 (CEMIT-CECOIA 3) / 日本経営情報学会主催 (1992/8/31~9/4)
- ◇ 第 2 回 [運動と振動の制御] シンポジウム / (社) 日本機械学会主催 (1991/9/3~5)
- ◇ 第 1 5 回 COMPSAC 国際会議 / (社) 情報処理学会、IEEE Computer Society 主催 (1991/9/9~13)
- ◇ The International Conference on Artificial Intelligence Applications / Division of Management-Polytechnic University 主催 (October 9-11, 1991)

- ◇セミナー [ニューラル/ファジィの現状と今後の展望] / システム制御学会主催<大阪>(1991/9/12・13)<東京>(1991/9/19・20)
- ◇講習会 [ファジィ・エキスパート・システム] / 日本ファジィ学会主催(1991/9/19)
- ◇第176回講習会 [サイコエンジニアリング Psych o - Engineer ing] / (社) 精密工学会主催(1991/9/26)
- ◇SICE創立30周年記念/関西支部創立25周年記念シンポジウム [計測・センサの最新の動向 - 知能化を中心として -] / (社) 計測自動制御学会関西支部(1991/9/26・27)
- ◇The Forth UNB AI Conference / Faculty of Computer Science, University of New Brunswick, Canada 主催(September, 1991)
- ◇シンポジウム [通信のパーソナル化を展望する] / (財) 電気通信政策総合研究所主催(1991/10/4)
- ◇セミナー [化学工業におけるFA化技術-ファインケミカルから粉体まで-] / システム制御情報学会主催<東京>(1991/10/8・9)<大阪>(1991/10/22・23)
- ◇講習会 (法人会員向け) 第2回 [ファジィ制御法-理論と実際-] / 日本ファジィ学会主催(1991/10/14・15)
- ◇SICE基礎講習会-適応制御入門-/ (社) 計測自動制御学会主催(1991/10/14・15)
- ◇1991年度第12回バイオメカニズム学術講演会/バイオメカニズム学会主催(1991/10/17・18)
- ◇講習会 [ファジィOR] / 日本ファジィ学会主催(1991/10/18)
- ◇AVIRGサマーセミナー [シミュレートッドアニーリングとジェネティックアルゴリズム] / 視聴覚情報研究会 (AVIRG) 主催(1991/10/18)
- ◇第7回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム / (社) 計測自動制御学会ヒューマン・インタフェース部会主催(1991/10/23~25)
- ◇第一回インテリジェントシステム・シンポジウム-ファジィ、AI、ニューラルネットワーク応用技術-/ (社) 日本機械学会、他主催(1991/10/25・26)
- ◇現代制御理論基礎講座初級 / (社) 計測自動制御学会主催(1991/11/5~7)
- ◇'91センシング技術応用セミナー [新しい科学技術のシーズとセンシング技術-次世代センシング技術への展望-] / センシング技術応用研究会、(社) 大阪府技術協会主催(1991/11/7・8)
- ◇IFES'91国際ファジィ工学シンポジウム/技術研究組合国際ファジィ工学研究所、日本ファジィ学会、(財) 日本情報処理開発協会主催(1991/11/13~15)
- ◇IMEKO TC17 [第2回ロボットにおける計測と制御国際会議] (ISMCR'92) / (社) 計測自動制御学会主催(1992/11/16~18)
- ◇第8回色彩工学コンファレンス/第8回色彩工学コンファレンス実行委員会主催(1991/11/18・19)
- ◇新ソフトウェア構造化モデル国際シンポジウム&ワークショップ'91 / (財) ソフトウェア工学研究財団主催(1991/11/18~21)
- ◇第34回自動制御講演会 / (社) 計測自動制御学会主催(1991/11/20~22)
- ◇'91 FRIEND 21 国際シンポジウム / (財) パーソナル情報環境協会主催(1991/11/25~27)
- ◇神経回路学会第2回全国大会 / 神経回路学会主催(1991/12/13~15)
- ◇[知識のリフォーメーション-知識表現と学習の新方向-] シンポジウム / (社) 情報処理学会 / 人工知能研究会主催(1991/11/27・28)
- ◇[第6回生体・生理工学シンポジウム] / (社) 計測自動制御学会主催(1991/12/3・4)
- ◇第3回 [自律分散システム・シンポジウム] / (社) 計測自動制御学会・重点領域研究 [自律分散システム] 部会主催(1992/1/13・14)
- ◇講習会 [ファジィの基礎から実用化技術まで] / 日本ファジィ学会主催(1992/1/16・17)
- ◇第3回ロボットセンサシンポジウム / (社) 日本ロボット学会、(社) 日本機械学会、(社) 計測自動制御学会主催(1992/1/17・18)
- ◇[IPALシンポジウム] / 情報処理振興事業協会主催(1992/1/20)
- ◇講習会 [ファジィ理論と知識獲得] / 日本ファジィ学会主催 : (1992/1/24)
- ◇現代制御理論基礎講座初級 / (社) 計測自動制御学会主催(1992/2/3~5)

- ◇システム制御情報チュートリアル講座イブニングスクール（J）コース [ファジィ概念の基礎と応用] / システム制御情報学会 主催(1992/2/3・5・7・12・14)
- ◇F A ・ I M S ' 9 2 - 新生産・情報システム展 - / 日本経済新聞社主催(1992/3/3~6)
- ◇平成3年度ORセミナー [ファジィ多目的計画法の基礎と応用] / (社)日本オペレーションズ・リサーチ学会主催 (1992/3/4)
- ◇ [MTワールド'92] / 日本機械翻訳協会主催(1992/3/18・19)
- ◇ [知能ソフトウェア工学の動向と展望] シンポジウム / (社)電子情報通信学会 [人工知能と知識処理] 研究会主催 : (1992/3/10・11)

#### 《後 援》

- ◇第15回油圧・空気圧国際見本市併催メカニカルパーソナルCADシステム展 / (社)日本油空圧工業会、日本工業新聞社、産経新聞社主催(1991/9/11~14)
- ◇第6回 [大学と科学] 公開シンポジウム “人工知能とニューロコンピューター人智に近づく情報処理” / 第6回 [大学と科学] 公開シンポジウム組織委員会主催(1992/1/27・28)

### 13. 会 議

#### ◇第6回通常総会

6月27日(木)に全国大会会場の学習院大学記念会館(東京・目白)で開催、出席者1,028名(うち委任状950名)、1990年度事業報告、1991年度事業計画などの議案審議、決裁、引き続き創立5周年記念論文賞、1990年度学会論文賞の表彰を行った。

#### ◇理事会

8月を除く各月に計11回開催した。

#### ◇1991年度評議員会

定例会議を5月24日(金)に開催、当日出席45名、総会議題、学会運営について審議を行った。

#### ◇委員会

編集、研究会運営、企画(旧事業)、国際、広報、財務、総務(旧庶務)の各委員会ならびに1991年度全国大会(第5回)の大会委員会および同プログラム委員会、1992年度全国大会(第6回)開催準備のため設置された大会委員会および同プログラム委員会、A L T ' 9 1各委員会、が随時開催された。

### 14. 契約締結、覚書交換、認可など

#### ◇社団法人人工知能学会・新任役員登記(1991/7/10)

#### ◇ [第1回計算論的学習理論国際ワークショップ (A L T ' 9 1)] プロシーディング出版契約書 (1991/11/30) < (株) オーム社 >

#### ◇全国大会運営業務委託の覚書交換(1992/2/21) < (株) 連企画研究事務所 >

1992年度全国大会(第6回)の準備着手に際し、運営事務を(株)連企画研究事務所に委託することとし、大会事務局(東京都港区浜松町2-12-14、第2日化ビル3階)を設けた。

以 上

# (社) 人工知能学会1991年度決算報告書

<1991年4月1日~1991年3月31日>

## 貸借対照表

(1992年3月31日)

### 1) 資産の部

科 目	金 額
1. 流動資産	
(1)現金預金	77,502,277
現金	(156,753)
預金	(11,345,524)
定期預金	(66,000,000)
(2)未収金	11,761,145
(3)立替金	17,647
(2)担保金	777,000
(4)貸出金	2,000,000
流動資産計	[92,058,069]
2. 固定資産	
(1)入居保証金	4,344,000
(2)電話架設料	220,584
その他の固定資産計	[4,564,584]
資 産 合 計	96,622,653

### 2) 負債の部

科 目	金 額
1. 流動負債	
(1)前納金	17,419,000
(2)未払い金	14,169,344
流動負債計	[31,588,344]
2. 固定負債	
(1)国際会議積立金	15,500,000
(2)A.L.T積立金	980,000
(3)退職金引当金	1,348,787
(4)会費未納分除却引当金	956,000
(5)事務所整備積立金	1,500,000
固定負債計	[20,284,787]
負 債 合 計	51,873,131

### 3) 正味財産の部

科 目	金 額
1. 基本財産	
(1)基本財産	35,000,000
基本財産計	[35,000,000]
2. 剰余金	
(1)次期繰越収支差額	9,749,522
剰余金計	[9,749,522]
正 味 財 産 合 計	44,749,522
負債および正味財産合計	96,622,653

# 財産目録

(1992年3月31日)

科 目	金 額
(資産の部)	
1. 流動資産	
(1) 現金預金 77,502,277	
イ) 現金	
現金手持ち有り高	156,753
ロ) 普通預金	
第一勧業銀行北沢支店 (代表幹事口座)	489,163
第一勧業銀行飯田橋支店 (会長口座)	7,044,465
郵便貯金 (会長口座)	385,508
三菱銀行神楽坂支店 (会長口座)	261,856
第一勧業銀行北沢支店 (事務局長口座)	78,368
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座)	103,714
第一勧業銀行飯田橋支店 (事務局長口座/新)	604,981
第一勧業銀行飯田橋支店 (ALT積立金)	1,009,349
第一勧業銀行飯田橋支店 (ALT91)	216,637
ハ) 振替貯金	
東京振替貯金局	1,151,483
ニ) 定期預金	
第一勧業銀行飯田橋支店	35,000,000
三菱銀行神楽坂支店	14,000,000
三菱銀行神楽坂支店	15,000,000
定額郵便貯金	2,000,000
(2) 未収金 11,761,145	
イ) 会 費	7,510,262
ロ) 会誌別刷り	1,851,321
ハ) 会誌印税	195,720
ニ) 会誌広告料	777,070
ホ) 研究会登録料	562,672
ヘ) 研究会別刷り料	73,000
ト) セミナー参加料	244,600
チ) ALT91参加料	28,000
リ) PRICAI 剰余金	300,000
ヌ) ハドブックス予約料	142,000
ル) 名簿予約料	76,500
(3) 立替金	
イ) 社会・労働保険料	17,647
(4) 担保金	
イ) 郵便物受取人払い担保金	777,000
(5) 貸出金	
イ) 全国大会運営費	2,000,000
2. 固定資産	
(1) 入居保証金	4,344,000
(2) 電話架設料	220,584
資 産 合 計	96,622,653

科 目	金 額
(負債の部)	
1. 流動負債	
(1) 前納金	
イ) 91年度会費	16,797,000
ロ) 研究会登録料	622,000
(2) 未払金	
イ) 会誌発行費	13,690,780
ロ) 会誌別刷り印刷費	478,564
2. 固定負債	
イ) 国際会議積立金	15,500,000
ロ) ALT積立金	980,000
ハ) 退職金引当金	1,348,787
ニ) 会費未納分除却引当金	956,000
ホ) 事務所整備積立金	1,500,000
負 債 合 計	51,873,131
正 味 財 産	44,749,522

注：基本財産は定期預金35,000,000円

# [1] 収支計算の部

(自1991年4月1日～至1992年3月31日)

## 1) 収入の部

科 目	予 算 額	実 算 額	差 引 額
基本財産運用	2,700,000	2,765,000	65,000
入会金収入	760,000	739,000	▲21,000
正会員入会金	720,000	626,000	▲94,000
学生会員入会金	40,000	113,000	73,000
会費収入	58,940,000	56,776,000	▲2,164,000
正会員会費	31,808,000	30,984,000	▲824,000
学生会員会費	1,352,000	1,412,000	60,000
賛助会員会費	25,040,000	23,520,000	▲1,520,000
特殊購読会員会費	740,000	860,000	120,000
事業収入	30,126,000	33,167,269	3,041,269
会誌別刷料	4,164,000	8,272,000	4,108,000
会誌印税	972,000	1,174,320	202,320
全国大会参加費 他	16,000,000	14,188,162	▲1,811,838
セミナー参加費	3,090,000	2,026,000	▲1,064,000
フォーラム参加費	180,000	46,000	▲134,000
会誌など頒布代	720,000	1,490,000	770,000
研究会登録料 他	3,190,000	3,446,500	256,500
国内ワークショップ ALT' 91	1,560,000	2,364,254	804,254
その他	250,000	160,033	▲89,967
雑収入	5,520,000	5,936,051	416,051
会誌広告料	4,410,000	3,224,415	▲1,185,585
郵送料 他	60,000	30,000	▲30,000
受取利息	1,050,000	2,681,636	1,631,636
積立金取崩し収入	-	2,795,213	2,795,213
退職金引当金	-	951,213	951,213
会費未納分除却引当金	-	1,844,000	1,844,000
当期収入合計	98,046,000	102,178,533	4,132,533
前期繰越収支差額	15,470,351	15,470,351	0
収入合計	113,516,351	117,648,884	4,132,533

## 2) 支出の部

科 目	予 算 額	実 算 額	差 引 額
<b>事業費</b>	<b>61,724,000</b>	<b>67,456,842</b>	<b>5,732,842</b>
会誌発行費	30,444,000	37,643,102	7,199,102
会誌別刷印刷費	2,112,000	2,688,669	576,669
会誌執筆謝礼	528,000	487,973	▲40,027
会誌発行諸経費	1,400,000	710,700	▲689,300
全国大会開催費	16,000,000	14,144,896	▲1,855,104
セミナー開催費	2,004,000	1,947,746	▲56,254
フォーラム開催費	551,000	490,329	▲60,671
研究部会開催費	100,000	0	▲100,000
ニュースレター発行費	810,000	792,740	▲17,260
地方講演会	645,000	423,021	▲221,979
研究会、他開催費	4,455,000	4,459,944	4,944
国内ワークショップ ALT' 91	1,550,000	2,325,673	775,673
広報活動費	460,000	460,360	360
表彰費	60,000	216,873	156,873
会議費	605,000	664,816	59,816
<b>管理費</b>	<b>33,201,000</b>	<b>35,347,307</b>	<b>2,146,307</b>
家賃	3,399,000	3,399,000	0
共益費	482,000	482,040	40
光熱費	300,000	335,040	35,040
リース料 他	1,400,000	1,147,214	▲252,786
機械修理費	40,000	86,808	46,808
什器備品費	200,000	84,020	▲115,980
会議費	1,400,000	1,081,081	▲318,919
旅費交通費	250,000	322,650	72,650
通信費	2,700,000	3,535,079	835,079
印刷費	900,000	1,551,217	651,217
消耗品費	1,100,000	2,067,922	967,922
倉庫管理費	300,000	608,110	308,110
給料手当等	17,600,000	17,576,887	▲23,113
臨時雇用費	800,000	1,044,830	244,830
支払い手数料	50,000	75,060	25,060
雑費	120,000	180,565	60,565
資料購入費	145,000	193,122	48,122
研修費	30,000	46,700	16,700
諸会費	80,000	83,000	3,000
OA強化費	200,000	0	▲200,000
保険料	5,000	3,800	▲1,200
福利厚生費	1,700,000	1,443,162	▲256,838
<b>積立金繰入れ支出</b>	<b>2,300,000</b>	<b>2,300,000</b>	<b>0</b>
国際会議積立金	1,500,000	1,500,000	0
事務所整備積立金	500,000	500,000	0
退職金引当金	300,000	300,000	0
<b>予備費</b>	<b>800,000</b>	<b>0</b>	<b>▲800,000</b>
<b>引当金取崩し支出</b>	<b>-</b>	<b>2,795,213</b>	<b>2,795,213</b>
退職金支払額	-	951,213	951,213
会費未納分除却損	-	1,844,000	1,844,000
<b>当期支出合計</b>	<b>98,025,000</b>	<b>107,899,362</b>	<b>9,874,362</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>15,491,351</b>	<b>9,749,522</b>	<b>▲5,741,829</b>
<b>支出合計</b>	<b>113,516,351</b>	<b>117,648,884</b>	<b>4,132,533</b>

注：当期収支差額は▲5,720,829円となる。

## 「2」正味財産増減計算の部

(自1991年4月1日～至1992年3月31日)

### 1) 増加の部

科 目	実 算 額
当期収支差額	0
当期増減差額	0
増加額合計	0

### 2) 減少の部

科 目	実 算 額
当期収支差額	5,720,829
当期増減差額	0
減少額合計	5,720,829

### 3) 合計の部

科 目	実 算 額
当期正味財産増加額	▲5,720,829
前期繰越正味財産額	50,470,351
期末正味財産合計額	44,749,522



# 1992年度事業計画（案）

## 1. 運営・活動方針

定款の目的に沿って、会誌の隔月発行、全国大会（第6回）、国際会議、研究会、セミナー、講演会の開催、ワークショップなど研究活動の推進、ニューズレターの発行、学会論文賞、研究奨励賞および全国大会優秀論文の表彰、ならびに他学協会および海外関連団体との協調により学会活動の活発化、多様化を推進するとともに、引続き組織・基盤の強化に努めて会員サービスの充実をはかる。

なお、とくに研究活動の充実をはかるため〔言語・音声理解と対話処理〕、〔知的教育システム〕をテーマとした2研究会が新しく発足する。

また、人工知能国際会議 I J C A I ' 9 7 の日本誘致に向けて、準備委員会を組織するなど、具体的な準備を開始する。

## 2. 会誌の発行

- ◇第7巻第3号（通巻33号）1992年5月1日発行  
小特集〔状況意味論〕、解説（連載）〔MDL規準-1〕／〔論理と応用-1〕、他
- ◇第7巻第4号（通巻34号）1992年7月1日発行  
特集〔事例ベース推論〕、解説（連載）〔MDL規準-2〕／〔論理と応用-2〕、他
- ◇第7巻第5号（通巻35号）1992年9月1日発行  
特集〔認知科学の最近の動向〕、他
- ◇第7巻第6号（通巻36号）1992年11月1日発行  
論文特集〔学習〕、連載〔計画問題とAI-1〕、他
- ◇第8巻第1号（通巻37号）1993年1月1日発行  
特集〔大規模知識ベース〕  
論文特集〔学習〕、連載〔計画問題とAI-2〕、他
- ◇第8巻第2号（通巻38号）1993年3月1日発行  
特集〔VLSI-CADとAI〕、連載〔計画問題とAI-3〕、他

## 3. 全国大会（第6回）の開催

期 日 1992年6月23日（火）～26日（金）

場 所 学習院大学・記念会館

構 成 ・特別講演〔ルール意識を管理する方法-〕

佐藤雅彦氏（電通）

・招待講演〔Themes and Issues in Empirical Learning（経験的学習の課題と論点）〕

Prof. J. R. Quinlan（University of Sydney）

・パネルディスカッション〔協調システムは可能か？〕

・研究会企画特別セッション

〔マルチメディアにおける時間の制御〕

（ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会）

〔制約指向とエキスパートシステム〕

（知識ベースシステム研究会）

- ・一般講演（182件）
- ・チュートリアル講演（3トラック9件）
  - Track A -人工知能の入門と基礎-
  - Track B -人工知能理論の最近の話題と動向-
  - Track C -人工知能のシステム化技術の動向-

#### 4. シンポジウム／ワークショップの開催

##### ◇第10回設計シンポジウム

期 日 1992年7月16日（木）・17日（金）  
 場 所 ムトーホール（東京・世田谷）  
 構 成 論文発表<解説論文1件、一般論文18件>  
 共 催 （社）精密工学会、（社）日本機械学会、日本設計工学会

##### ◇マシンインテリジェンスに関する国際ワークショップ1992

期 日 1992年8月24日（月）～26日（水）  
 場 所 グラスゴー（スコットランド）  
 構 成 論文発表  
 共 催 The Turing Institute

##### ◇計算論的学習理論ワークショップALT'92

期 日 1992年10月20日（火）～22日（木）  
 場 所 CSK情報教育センター（東京・多摩）  
 構 成 招待講演／論文発表

##### ◇第2回[知識ベースシステムシステムのための知識獲得]ワークショップJKAW'92

期 日 1992年11月9日（月）～13日（金）  
 場 所 神戸国際会議場（神戸・ポートアイランド）/  
 （株）日立製作所基礎研究所（埼玉・鳩山町）  
 構 成 特別講演、一般講演

##### ◇第1回ヤングAIワークショップ

期 日 1992年11月19日（木）・20日（金）<予定>  
 場 所 東京厚生年金健康づくりセンター“サンピア多摩”（東京・多摩）  
 構 成 講演／ディスカッション

#### 5. 研究会の開催

昨年度までの3研究会に加えて、新しく[言語・音声理解と対話処理]、[知的教育システム]をテーマとした2研究会が発足し、それぞれ年4～5回の研究会を開催する。12月度は5研究会合同で、AIシンポジウム'92として講演、パネル討論、研究発表を行う。

##### ◇人工知能基礎論研究会（略称：SIG-FAI）

開催予定月：6月12日（東京）、12月（5研究会合同/AIシンポジウム'92、東京）、  
 2月<10月度研究会はALT'92として開催>

<内 容>：論理、推論、学習、知識の表現と獲得、並列計算モデル、知的プログラミング、自然

言語理解、パターン理解などに関する人工知能としての基礎的研究

◇ヒューマンインタフェースと認知モデル研究会(略称:SIG-HICG)

開催予定月:5月18日(神戸大学)、10月5日(月)(テーマ:マルチモーダルとAI、東京)、12月(5研究会合同/AIシンポジウム'92、東京)、2月(テーマ:メンタルモデルとグループウェア、東京)

<内容>:ヒューマンインタフェース設計論、対話モデル、認知モデル(知覚、記憶、思考、学習、言語)、人間と機械との協調問題解決、計算機支援による応用システム(エキスパートシステム、CAD、CAI、OAなど)のヒューマンインタフェース、ヒューマンインタフェースの評価技術、ヒューマンインタフェース向きアーキテクチャ、メタファ

◇知識ベースシステム研究会(略称:SIG-KBS)

開催予定月:4月23日(東京)、8月19日~21日(テーマ:並列/分散/協調処理、並列/分散/協調処理に関するサマータークショップと共催、宮崎)、10月27日(火)(テーマ:プロセス産業における知能化技術と次世代AI、学術振興会プロセスシステム工学研究会と共催、東京)、12月(5研究会合同/AIシンポジウム'92)、1月21・22日(電子情報通信学会人工知能と知識処理研究会と共催、京都)

<内容>:人工知能ツール、環境(AI言語、AIツール、AIワークステーション、AI向きアーキテクチャ)、人工知能技法(知識表現、推論、知識獲得)、人工知能応用(エキスパートシステム、自然言語処理、パターン情報処理、知的CAIなど)《なお本研究会は、広い意味での知識ベースシステムの応用をテーマとする研究発表を受け付けています。エキスパートシステムに限らず、知的設計支援、ソフトウェア開発支援、知的データベース、自然言語処理応用、知的制御、知的CAI、生産管理への知識ベース応用、などもテーマとして取り上げていく予定です。》

◇言語・音声理解と対話処理研究会(略称:SIG-SLUD)

開催予定月:4月15日(パネル討論[音声処理と言語処理の統合に向けて]および一般演題研究発表、東京)、7月13・14日(情報処理学会・音声言語情報処理と音声入出力装置研究グループ/電子情報通信学会・音声認識の実用化を目指す新手法時限研究専門委員会と共催、上諏訪)10月(東京)、12月3・4日(5研究会合同"AIシンポジウム'92"、東京)、2月

<内容>:自然言語理解、自然言語処理、音声処理、計算言語学、コミュニケーション・モデル、社会言語学、ソフトウェア・アーキテクチャなど

◇知的教育システム研究会(略称:SIG-IES)

開催予定月:4月24日(テーマ:知的教育システム、東京)、9月25日(テーマ:知的教育システムに関する一般演題、情報処理学会・コンピュータと教育研究会と共催、徳島)、11月20日(テーマ:学習者モデルと教授知識、東京)12月3・4日(5研究会合同"AIシンポジウム'92"、東京)、1月29日(テーマ:一般演題、東京)

<内容>:学習者モデル、教授と学習、教育システムの要素技術(高次推論機構、認知モデル、感性・情緒モデル、マシンラーニング、対話モデル、対話技術など)、知的教育システムの設計・実現、発見的環境の構築技術、教育とメディア技術、など。

6. セミナーの開催

セミナーを年4回開催する。

## 7. ニュースレターの発行

年3回程度随時発行の予定。

## 8. 表彰

1992年発行の会誌掲載論文、ショートノート、技術資料を対象とした学会論文賞の表彰、1991年度開催の研究会発表を対象にした研究奨励賞の表彰、および全国大会（第6回）発表優秀論文の表彰を行う。

## 9. 関連学協会との共催、協賛など

昨年度に引き続き、他学協会との協調により学会活動の活発化、多様化を推進する。本学会が共催／協賛／後援する、関連学協会の本年度開催の催し物は、共催2件、協賛37件、後援件（4月24日現在）である。

## 10. 総会・評議員会・理事会・委員会

### ◇総会

通常総会（第7回）を6月25日全国大会会場で開催。

### ◇評議員会

定例会議を全国大会第2日の6月24日に、全国大会会場で開催。

### ◇理事会

毎月1回開催。（8月は休会）

### ◇委員会その他

会誌編集、研究会運営、企画、全国大会・同プログラム委員会、国際、出版、広報、財務、総務、ALT'92、IJCAI'97準備の各委員会は随時開催。

## 11. 1992年度役員構成（案）

別紙参照

## 12. 1992年度評議員構成（案）

別紙参照

以上

# 1992年度予算書 (案)

(自1992年4月1日～至1993年3月31日)

## 1) 収入の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
基本財産運用	2,030,000	2,700,000	▲670,000
入金収入	760,000	760,000	0
正会員入会金	720,000	720,000	0
学生会員入会金	40,000	40,000	0
会費収入	57,944,000	58,940,000	▲996,000
正会員会費	31,200,000	31,808,000	▲608,000
学生会員会費	1,484,000	1,352,000	132,000
賛助会員会費	24,320,000	25,040,000	▲720,000
特殊購読会員会費	940,000	740,000	200,000
事業収入	35,729,000	30,126,000	5,603,000
会誌別冊料	9,249,000	4,164,000	5,085,000
会誌印税	1,170,000	972,000	198,000
全国大会参加費 他	13,000,000	16,000,000	▲3,000,000
セミナー参加費	4,155,000	3,090,000	1,065,000
フォーラム参加費	0	180,000	▲180,000
会誌など頒布代	920,000	720,000	200,000
研究会登録料、他	5,345,000	3,190,000	2,155,000
国内ワークショップ ALT 91	1,740,000	1,560,000	180,000
その他	150,000	250,000	▲100,000
雑収入	6,470,000	5,520,000	950,000
会誌広告料	4,410,000	4,410,000	0
郵送料 他	60,000	60,000	0
受取利息	2,000,000	1,050,000	950,000
当期収入合計	102,933,000	98,046,000	4,887,000
前期繰越収支差額	9,749,522	15,470,351	▲5,720,829
収入合計	112,682,522	113,516,351	▲833,829

## 2) 支出の部

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
<b>事業費</b>	<b>65,944,000</b>	<b>61,724,000</b>	<b>4,220,000</b>
会誌発行費	35,832,000	30,444,000	5,388,000
会誌別刷印刷費	2,460,000	2,112,000	348,000
会誌執筆謝礼	528,000	528,000	0
会誌発行諸経費	1,400,000	1,400,000	0
全国大会開催費	12,500,000	16,000,000	▲3,500,000
セミナー開催費	3,560,000	2,004,000	1,556,000
フォーラム開催費	-	551,000	▲551,000
研究部会開催費	-	100,000	▲100,000
ニューズレター発行費	810,000	810,000	0
地方講演会	-	645,000	▲645,000
研究会、他開催費	5,919,000	4,455,000	1,464,000
国内ワークショップ ALT '91	1,740,000	1,550,000	190,000
広報活動費	460,000	460,000	0
表彰費	130,000	60,000	70,000
会議費	605,000	605,000	0
<b>管理費</b>	<b>36,636,000</b>	<b>33,201,000</b>	<b>3,435,000</b>
家賃	3,716,000	3,399,000	317
共益費	482,000	482,000	0
光熱費	330,000	300,000	30,000
リース料 他	1,100,000	1,400,000	▲300,000
機械修理費	40,000	40,000	0
什器備品費	100,000	200,000	▲100,000
会議費	1,100,000	1,400,000	▲300,000
旅費交通費	300,000	250,000	50,000
通信費	3,400,000	2,700,000	700,000
印刷費	1,500,000	900,000	600,000
消耗品費	1,800,000	1,100,000	700,000
倉庫管理費	450,000	300,000	150,000
給料手当等	18,983,000	17,600,000	1,383,000
臨時雇用費	800,000	800,000	0
支払い手数料	50,000	50,000	0
雑費	120,000	120,000	0
資料購入費	145,000	145,000	0
研修費	30,000	30,000	0
諸会費	85,000	80,000	5,000
OA強化費	200,000	200,000	0
保険料	5,000	5,000	0
福利厚生費	1,900,000	1,700,000	200,000
<b>積立金繰入れ支出</b>	<b>3,500,000</b>	<b>2,300,000</b>	<b>1,200,000</b>
国際会議積立金	1,500,000	1,500,000	0
事務所整備積立金	200,000	500,000	▲300,000
退職金引当金	300,000	300,000	0
会費未納除却分引当金	1,500,000	0	1,500,000
<b>予備費</b>	<b>400,000</b>	<b>800,000</b>	<b>▲400,000</b>
<b>当期支出合計</b>	<b>106,480,000</b>	<b>98,025,000</b>	<b>8,455,000</b>
<b>次期繰越収支差額</b>	<b>6,202,522</b>	<b>15,491,351</b>	<b>▲9,288,829</b>
<b>支 出 合 計</b>	<b>112,682,522</b>	<b>113,516,351</b>	<b>▲833,829</b>

注：当期収支差額は▲3,547,000円である。

# 入会金および 会費に関する規程改正（案）

## <改正点>

個人会員正会員および特殊購読会員の会費年額を1993年度から変更するため、“入会金および会費に関する規程”の第2条を改正し第3条を追加する。

## <現 行>

第2条 本会定款第8条に定める会費は年額次のとおりとする。

- |            |    |                |
|------------|----|----------------|
| 1) 正 会 員   |    | <u>8,000円</u>  |
| 2) 学 生 会 員 |    | 4,000円         |
| 3) 賛 助 会 員 | 1口 | 80,000円        |
| 4) 特殊購読会員  |    | <u>10,000円</u> |

## <改正案>

第2条 本会定款第8条に定める会費は年額次のとおりとする。

- |            |    |                |
|------------|----|----------------|
| 1) 正 会 員   |    | <u>10,000円</u> |
| 2) 学 生 会 員 |    | 4,000円         |
| 3) 賛 助 会 員 | 1口 | 80,000円        |
| 4) 特殊購読会員  |    | <u>15,000円</u> |

第3条 1992年6月25日付の第2条改正は、1993年度から適用する。

以 上

## 名誉会員推薦について

本学会定款第3章第6条にもとづき、人工知能分野の学問的研究の促進ならびに本学会の運営、事業活動の発展に著しく寄与されました 辻 三郎氏 を本学会名誉会員に推薦いたします。

◇辻 三郎 氏

現職 大阪大学基礎工学部教授／学部長

略歴 1955年大阪大学大学院工学研究科修士課程修了。同年7月同大学工学部助手。同年9月工業技術院電気試験所に出向。その後同所システム研究室主任研究官、システム研究室長、バイオニクス研究室長を経て、1969年7月大阪大学基礎工学部助教授に併任、同年10月に専任、現在にいたる。工学博士。本学会副会長、会長を歴任。

以上



# 社団法人人工知能学会・1992年度役員構成

会 長	志村 正道	東京工業大学工学部情報工学科／教授	(新任)
副会長	石原孝一郎	(株)日立製作所システム開発研究所／主管研究長	(留任)
副会長	堂下 修司	京都大学工学部情報工学教室／教授	(新任)
理 事	雨宮 真人	九州大学大学院総合理工学研究科／教授	(留任)
理 事	池田 克夫	京都大学工学部情報工学科／教授	(留任)
理 事	石塚 満	東京大学生産技術研究所第3部／助教授	(留任)
理 事	稲垣 康善	名古屋大学工学部情報工学科／教授	(新任)
理 事	河岡 司	日本電信電話(株)情報通信処理研究所／知識処理研究部長	(留任)
理 事	北橋 忠宏	大阪大学産業科学研究所／教授	(新任)
理 事	小山 照夫	学術情報センター研究開発部／助教授	(留任)
理 事	後藤 敏	日本電気(株)第3基本ソフトウェア開発本部／本部長代理	(留任)
理 事	田中 譲	北海道大学工学部電気工学科／教授	(留任)
理 事	棚橋 純一	(株)富士通研究所／基盤システム研究部門長	(新任)
理 事	田村浩一郎	電子技術総合研究所／情報科学部長	(新任)
理 事	遠山 一郎	新日本製鐵(株)エレクトロニクス研究所／副所長	(新任)
理 事	房岡 璋	三菱電機(株)中央研究所システム基盤研究部／次長	(新任)
理 事	古川 康一	慶応義塾大学環境情報学部／教授	(留任)
理 事	溝口 文雄	東京理科大学理工学部経営工学科／教授	(新任)
理 事	南 正名	(株)東芝総合研究所企画グループ／部長	(新任)
理 事	柳生 孝昭	日本ユニシス(株)／常務取締役	(留任)
監 事	早馬 修	(株)野村総合研究所／常務取締役	(留任)
監 事	山本 正隆	沖電気工業(株)情報通信機器事業本部／常務取締役本部長	(新任)



顧 問	榎本 肇	芝浦工業大学工学部工業経営学科／教授	(留任)
顧 問	福村 晃夫	中京大学情報科学部情報科学科／教授・学部長	(留任)
顧 問	大須賀節雄	東京大学先端科学技術研究センター／教授・センター長	(留任)
顧 問	辻 三郎	大阪大学基礎工学部／教授・学部長	(新任)

(理事は五十音順)

# 社団法人人工知能学会1992年度評議員構成

大学関係	25名
国立・公的機関関係	9名
企業関係	35名
合計	69名

赤間 清	北海道大学工学部情報工学科	(留任)
穂本 能彬	東京電力(株)システム研究所A I研究室	(新任)
浅井 清	日本原子力研究所情報システムセンター	(留任)
有川 節夫	九州大学理学部基礎情報学研究施設	(新任)
飯田 仁	(株)ATR自動翻訳電話研究所言語処理研究室	(新任)
石井 義則	日本デジタルイクイップメント(株) 総合システム本部基本アプリケーション開発部	(留任)
伊藤 公俊	東京工業大学総合理工学研究科	(再任)
上田 寿男	日本デジタルイクイップメント(株)総合システム本部	(留任)
上野 晴樹	東京電機大学理工学部経営工学科	(新任)
上原 貴夫	(株)富士通研究所川崎研究所	(留任)
浦野 義頼	国際電信電話(株)研究所	(新任)
大槻 説乎	九州工業大学情報工学科知能情報工学科	(留任)
大崎 幹雄	シャープ(株)情報システム研究所	(新任)
小野 欽司	国際電信電話(株)研究所	(新任)
河田 勉	(株)東芝総合研究所情報システム研究所	(留任)
神田 隆	富士通(株)企画部A I開発推進部	(留任)
岸 則正	日産自動車(株)総合研究所基礎研究所	(新任)
岸 義樹	製品科学研究所応用人間工学部情報機能課	(再任)
樽松 明	(株)ATR自動翻訳電話研究所	(留任)
小泉 寿男	三菱電機(株)情報電子研究所システム・ソフトウェア開発部	(再任)
香田 正人	日本アイ・ビー・エム(株)東京基礎研究所	(新任)
河野 毅	(株)東芝システム・ソフトウェア技術研究所	(留任)
小林 重信	東京工業大学総合理工学研究科	(留任)
小林 幸雄	日本電信電話(株)ヒューマンインタフェース研究所音声研究部	(留任)
坂間 保雄	日本電信電話(株)情報通信網研究所メッセージシステム研究部	(新任)
佐々木浩二	(株)アドイン研究所	(新任)
佐藤 繁	(株)富士通研究所	(新任)
佐藤 泰介	電子技術総合研究所知能情報部推論研究室	(留任)
篠原 武	九州工業大学情報工学科知能情報工学科	(留任)
下村 尚久	(株)東芝総合研究所	(新任)
白井 克彦	早稲田大学理工学部電気工学科	(新任)

鈴木 道夫	(財) 電力中央研究所経済研究所情報システム部知識処理研究室	(再任)
諏訪 基	電子技術総合研究所	(新任)
高木 朗	(株) C S K 技術開発本部言語情報研究部	(留任)
田中 英彦	東京大学工学部電気工学科	(新任)
田中 穂積	東京工業大学工学部情報工学科	(新任)
田町 常夫	福岡工業大学工学部通信工学科	(再任)
大力 修	新日本製鐵(株) エレクトロニクス研究所電子システム研究センター	(新任)
塚田 啓一	松下電器産業(株) 情報通信開発センター	(新任)
戸田 正直	中京大学情報科学部認知科学科	(再任)
豊田 順一	大阪大学産業科学研究所	(新任)
鳥脇純一郎	名古屋大学工学部情報工学科	(新任)
西田 豊明	京都大学工学部情報工学教室	(再任)
羽下雄之輔	沖電気工業(株) 研究開発本部総合システム研究所	(新任)
長谷川 隆	(株) 野村総合研究所知的システム研究部	(留任)
八賀 明	(財) 鉄道総合技術研究所八賀研究室	(留任)
原 潔	日本ユニシス(株) 知識システム部	(新任)
原田 実	青山学院大学理工学部経営工学科	(留任)
日高 達	九州大学工学部情報工学科	(留任)
淵 一博	(財) 新世代コンピュータ技術開発機構	(留任)
増田 功	セコム(株) I S 研究所パターン情報処理研究部	(新任)
松浦 卓文	三菱電機(株) 鎌倉製作所ソフトウェア技術部	(留任)
三上 市蔵	関西大学工学部土木工学科	(留任)
三雲 正夫	(株) 構造システム	(留任)
溝口理一郎	大阪大学産業科学研究所	(留任)
美濃 順亮	(株) 花王知識・情報科学研究所	(新任)
三宅 芳雄	中京大学情報科学部認知科学科	(留任)
向殿 政男	明治大学工学部電子通信工学科	(留任)
村岡 洋一	早稲田大学理工学部電子通信学科	(留任)
元田 浩	(株) 日立製作所基礎研究所	(新任)
森 俊二	(株) リコー中央研究所	(留任)
森 文彦	(株) 日立製作所ソフトウェア開発本部	(留任)
山口 高平	静岡大学/工学部情報知識工学科	(新任)
山崎 正人	松下電器産業(株) 情報通信東京研究所基礎研究部	(留任)
山本 昌弘	日本電気(株) C & C システム研究所	(留任)
横森 貴	電気通信大学電気通信学部情報工学科	(留任)
米澤 啓明	日本生命保険相互会社	(留任)
渡辺 豊英	名古屋大学工学部情報工学科	(留任)
渡辺 正信	日本電気(株) C & C システム研究所システム基礎研究部	(新任)

以上

# 個人会員の除名処分について

〔会費の徴収および学会機関誌の配布に関する細則〕にもとづき、88年度会費未納の下記の個人会員63名を、1991年度末をもって除名いたします。

## ◇内 訳

・ 86年度入会	正 会 員	23名
	学生会員	1名
	小 計	24名
・ 87年度入会	正 会 員	27名
	学生会員	10名
	小 計	37名
・ 88年度入会	正 会 員	2名
	小 計	2名
・ 合 計	正 会 員	52名
	学生会員	11名
	合 計	63名

以 上